

第2学年音楽科学習指導案

日 時：令和4年11月17日（木）5時間目
対象学級：北上市立江釣子中学校 2年B組
指導者：高橋香織

1 題材名 「浜辺の歌」の歌詞が表す情景を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう

2 題材の目標

- (1) 「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。
【(知識及び技能)(1)イ(ア)ウ(ア)】
- (2) 「浜辺の歌」のリズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
【(思考力・判断力・表現力等)(1)ア】
- (3) 「浜辺の歌」の歌詞が表す情景を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌うことに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。
【学びに向かう力、人間性等】

3 題材について

(1) 生徒について

本学級の生徒は、女子を中心に落ち着いて取り組んでいる。歌唱教材では、女子を中心に多くの生徒が一生懸命歌っている。男子は歌うことに抵抗がある生徒が多く、消極的である。

生徒たちは一生懸命歌おうとする意欲や素直さはあるが、主体的に表現を考え、工夫しながら歌うことには課題が感じられる。そこで、本題材を通して、曲想と音楽の構造や歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲への理解を深めさせる。さらに、個々の曲のイメージを歌唱表現する過程に、指揮をする身体的表現活動を取り入れることで、主体的に表現を工夫し、発信しようとする態度を育てたい。

(2) 教材について

本題材は、学習指導要領に示された指導事項、第2学年及び第3学年の内容「A 表現(1)ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること、イ(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解すること、ウ(ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けること」、「共通事項(1)アのリズム、旋律、強弱、構成」について指導するものである。

教材として取り上げる「浜辺の歌」は、旋律や歌詞の内容から、寄せては返す波の様子など、情景が自然と思い浮かぶ曲である。また、二部形式であることが歌いやすさにもつながっている。これらの理由から、曲にふさわしい表現を工夫するのに適した教材であると考えられる。

(3) 指導について

学習指導要領の「指導計画の作成と内容の取扱い」の2(ウ)には、「知覚したことと感受したこととの関わりを基に音楽の特徴を捉えたり、思考、判断の過程や結果を表したり、それらについて他者と共有、共感したりする際には、適宜、体を動かす活動も取り入れるようにすること。」と示されている。そこで、本題材では、指揮をする身体的活動によって、生徒一人ひとりが、表現を主体的に考えたり、それを他者に伝え共有したりしたことを、歌唱表現につなげていきたい。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(1)イ(ア) イ「浜辺の歌」を創意工夫を生かした表現で歌うために、必要な発声、言葉の発音などの使い方などの技能を身に付けている。(1)ウ(ア)	「浜辺の歌」のリズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(1)ア	「浜辺の歌」の歌詞が表す情景を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌うことに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

5 題材の指導と評価の計画(3時間)

題材全体の課題 「浜辺の歌」の歌詞が表す情景を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○「浜辺の歌」の情景をイメージしながら歌う。 ・歌詞が表す情景 ・旋律・強弱・構成 ・強弱構成の特徴 ○指揮の基本的技法を学ぶ。 ・叩き、平均運動、しゃくい	・歌詞の内容や拍子、強弱変化、構成について理解を深めさせる。(言葉シートを活用)	知 ◆観察 記述		↓
2 本 時	○どのように歌うかをイメージしながら指揮を工夫する。 ・歌唱表現と指揮の一体化	・歌唱表現のイメージが、指揮で表現できているか、クロムブックによる撮影、視聴で試行錯誤させる。		思 ◆観察 記述	
3	○指揮で工夫したことを歌唱につなげる。 ・指揮と歌唱の一体化	・クロムブックに記録した指揮を基に、「浜辺の歌」の情景をイメージしながら歌わせる。	技 ◆観察 記述	態 ◆観察 記述	

6 本時の指導（2時間目／全3時間）

(1) 目標

「浜辺の歌」をどのように歌うか、思いや意図を指揮で表現できるように工夫する。

【思考力・判断力・表現力等】

(2) 評価規準

おおむね達成	未達成の生徒への支援・手立て
<ul style="list-style-type: none"> 場面ごとの歌詞の内容から曲想にふさわしい指揮を創意工夫することができる。(思考・判断・表現) クロムブックで撮影した映像から、歌唱表現に対するイメージを広げたり、友達と映像を見せ合うなどして新たなヒントを得たりしながら、指揮を改善しようと取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<ul style="list-style-type: none"> 場面ごとの歌詞の内容から曲想を考えさせる。その後、どのように指揮をしたいか考えさせる。発問、机間巡視等。(思考・判断・表現) クロムブックで撮影した映像から、歌唱表現に対するイメージはどのようなものか聞き取り、指揮をどのように改善すればよいか考えさせる。助言等(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 指導構想（本校の研究主題との関わり）

本時は、「浜辺の歌」の後半について、指揮を工夫する授業を行う。その際、曲想と指揮の工夫の関連を明確化させるために、曲想や音楽を形づくっている要素（旋律、強弱など）、歌詞の情景と指揮の関わりについて関連を持たせた表現の工夫を文字や図形で記録させ、指揮を行ってみる。この活動が、本校の研究主題の目的である「能動的な学びのプロセス」を生かした活動と考える。

本校の研究主題は学びつづける力を育てる授業実践のために、学び方を「学びの型（学びのプロセスを授業に当てはめて具体的にしたもの）」として定義し、「主体的・対話的で深い学び」に留意しながら授業を改善を行い、質の高い学び、生涯にわたって主体的に学びつづけられる生徒の育成を目指して校内研究をしている。「学びのプロセス」を重視した授業で、生徒の力を育てたり高めたりすることをねらいとし、研究内容が各教科・領域等の教育計画や授業に生かされるように取り組んでいる。

その「学びのプロセス」は、以下の通りである。

《学びのプロセス》	
①	目的意識を持ちながら課題に立ち向かう
②	解決までの道の見通し、解決方法を予想し、解決方法を学んだり選択したりする
③	予想やモデル（やり方）を参考にして熟考したり、思考錯誤したりする
④	他とのかかわりを通して課題解決する
⑤	学習を振り返り、新たな課題に向かう

7 本時の展開

段	生徒の思考・学習過程 プロセス＝「学びのプロセス」★	学 習 活 動	
		生徒の活動(○主な発問等)	□指導上の留意点◆評価
1	振り返り	1 「浜辺の歌」の情景を詳しく想像す	□ムーヴノートで他の

導入 10分	2 課題把握	る。 情景→季節、天気、波の様子、何人、 浜辺にきた目的（ムーヴノート使用）	人の意見も見てみる。
	学習課題 「浜辺の歌」の後半について曲想や歌詞の内容に ふさわしい指揮を工夫しよう。		
展開 35分	3 見通し確認 プロセス① ★何ができればいいのか	2 本時の学習課題を把握する。	
	4 モデル理解 プロセス② ★どのようにやればいいのか	4 「浜辺の歌」の後半について、指揮 の方法を工夫する ・プリント記入（指揮の図形、技法、 理由）	□曲想と指揮の工夫を 明確化させるためにプ リントに記入させ、曲 想と関連づけながら工 夫するよう促す。
	5 個々の課題追究 プロセス③ ★学びたい・伝えたい	5 ①プリントをもとに指揮の練習に取り かかる。クロムブックで視聴しなが ら指揮の練習をし、より曲想や歌詞の 内容にふさわしい指揮を工夫する。 ②曲に合わせて録画をする。	□隣の人と相談しなが ら指揮の練習を行って もよいと指示する。
	6 かかわり合い 7 課題解決 プロセス③ ★深めたい・認められたい	6.7 班員の指揮を視聴 ①プリントに記入 ○自分の指揮と比べて班員の指揮はど ういうところがよくて、どういうと ころを改善すればよいのか考えてみよう。 ②班で意見発表をする。	□自分の指揮と比べて どういうところがよか ったか。どういうと ころを改善すればよい のか考えさせる。【学習 プリント】◆思考・判断 ・表現
終末 5分	8 まとめ	8 まとめる。	
	まとめ 「浜辺の歌」の後半について、曲想や歌詞の内容にふさわ しい指揮を工夫することができたか。		
	9 自己評価 プロセス④⑤ ★「できた自分」を褒め、「わかつ た自分」に自信をもち「考えた自分」 を認知する	9 学習を振り返る。	【学習プリント】 ◆思考・判断・表現
	10 次時予告	10 次時の学習予告	

板書計画

季節・天気・波の様子・何人・浜辺にきた目的 課題：曲想や歌詞の内容にふさわしい指揮を工 夫しよう 指揮の基本																																																		
叩きの図形	平均運動の 図形	しゃくいの図 形																																																
プリント拡大 <table border="1"> <tr> <td>指揮図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td colspan="4">楽</td> <td colspan="4">譜</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>指揮図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td colspan="4">楽</td> <td colspan="4">譜</td> </tr> </table>			指揮図								理由								楽				譜				指揮図								理由								楽				譜			
指揮図																																																		
理由																																																		
楽				譜																																														
指揮図																																																		
理由																																																		
楽				譜																																														